

【静岡県職業能力開発協会・平成 24 年度研修案内】

担当講師：村松 秀雄

新 入 社 員 向 け	研修名	新入社員研修	新入社員フォローアップ	新入社員入社前研修
	対 象	新入社員（新卒者）	新入社員（新卒者）	新入社員（2013 年新卒者）
	開催日	4 月 3 日（火）	10 月 2 日（火）	3 月 27 日（火）
	時間・受講料・定員	A（1 日）コース		
	会 場	テクノカレッジ清水	グランシップ（予定）	グランシップ（予定）
	研修のねらい	新人が必要なマナーや仕事の基本を通じ「こんな社員になってほしい」という先輩の声を届けます。	入社前後の初心を思い出し、目指していたものを再確認させる。“主体性”“組織の一員”を考え今後の行動目標へ落とし込む。	4 月 1 日に入社式を迎える新入社員に、入社前に一通りの一般常識とビジネスマナーを身に付けさせます。
	研修内容	1. 社会人とは 2. ビジネスマナーの基本 3. コミュニケーションの取り方 4. 仕事の基本(メモ、ホウレンソウ) 5. 安全について	1. 半年間の振り返り 2. できたこと・できなかったこと 3. 自分の目指すものとは 4. 一流の社会人とは 5. 行動目標宣言	1. 社会人とは 2. ビジネスマナーの基本 3. コミュニケーションの取り方 4. 仕事の基本(メモ、ホウレンソウ) 5. 参加者にとって必要な情報
職 場 リ ー ダ ー 向 け (外 国 人 対 応 含 む)	研修名	海外工場指導体験から学ぶ海外派遣者の心得と知識	外国人研修生への接し方、教え方	これからのリーダー基礎研修
	対 象	これから海外に派遣される方	外国人研修生と接する方	リーダー候補、リーダー
	開催日	4 月 20 日（金）	5 月 17 日（木）	6 月 14 日(木)・15 日(金) 2 日間 10 月 17 日(水)・18 日(木) 2 日間
	時間・受講料・定員	A（1 日）コース		C（2 日）コース ※終了時刻 17 時
	会 場	テクノカレッジ清水	テクノカレッジ清水	テクノカレッジ清水
	研修のねらい	海外の工場で現地のワーカーを指導した経験から、海外派遣者に最低限必要な心得と知識を伝えます。	生活習慣、価値観、宗教など異なる外国人研修生と接するには、どのような心構えが必要か学びます。	職場のリーダーという役割を果たすために必要なスキルとマインドを実践演習を通じて身に付けます。
	研修内容	1. 外国人と日本人との違い 2. 海外のワーカーについて 3. これだけは知っておこう - 5S と KAIZEN - 4. 生活の注意点	1. 相手の環境を知る 2. 言葉の壁を乗り越えて 3. 仕事の教え方 ※ 演習を通して接し方も学ぶ	1. リーダーの役割とは 2. リーダーシップのとりかた 3. コミュニケーションについて 4. 部下を動かすスキル 5. 自ら動くよう導かせる
監 督 者 向 け	研修名	仕事の教え方	人との接し方	改善の仕方
	対 象	職場の監督者、リーダー	職場の管理者、監督者、リーダー	職場の監督者、リーダー
	開催日	5 月 10 日(木)・11 日(金) 2 日間 9 月 13 日(木)・14 日(金) 2 日間 2013 年/ 1 月 23 日(水)・24 日(木) 2 日間	7 月 19 日(木)・20 日(金) 2 日間 2013 年/ 2 月 13 日(水)・14 日(木) 2 日間	8 月 9 日(木)・10 日(金) 2 日間
	時間・受講料・定員	B（監督者）コース		
	会 場	労政会館	テクノカレッジ清水	テクノカレッジ清水
	研修のねらい	職場ですぐに活用できるよう、受講者の作業を使った実習を通して学びます。	職場ですぐに活用できるよう、受講者の実例を使った会議方式で様々な人との接し方を学びます。	ムダ、ムリ、ムラを発見し、固定概念を取り払い生産性の向上を目指す方法を実習で習得します。
	研修内容	1. 正しい教え方（実演） 2. 作業分解の仕方（実演・実習） 3. 作業ポイントの見つけ方 4. 教え方（実習）	1. 問題発生予防 2. 部下の気持ちのつかみかた 3. 自分を取り巻く人との関係 4. 受講者の事例研究（実習）	1. 改善とは 2. 改善のプロセス 3. 改善の 4 段階法 4. 改善の目の付けどころ
製 造 業 向 け	研修名	事例研究。問題解決演習	IE 手法で業務改善をパワーアップ	こうすればよかった なぜなぜ分析
	対 象	若手社員から中堅社員	中堅社員、改善リーダー	中堅社員、改善リーダー
	開催日	8 月 2 日（木）	11 月 2 日(金)	11 月 14 日(水)
	時間・受講料・定員	A（1 日）コース		
	会 場	テクノカレッジ清水	テクノカレッジ清水（予定）	テクノカレッジ清水（予定）
	研修のねらい	原価を押し上げてしまう問題の発生を、生産現場でいち早くつかみ解決する手法を学びます。	改善提案を進めるために、作業を見直すポイントを、実習を通してつかみます。	なぜなぜを一定の法則によって繰り返すことで、真の問題をつきとめ不良の再発を防止しましょう。
	研修内容	1. 生産システムについて 2. 工程の見方 3. 標準、基準とは何か 4. 問題解決手法 ※ 事例数パターンを用います	1. 標準時間の設定と計算方法 2. 作業分析手法の活用 3. 稼働分析 4. ラインバランス	1. 問題とは何か 2. なぜミスが発生するのか 3. 問題の本質 4. 解決策の詰め